

あなたの願い叶え隊

- 第16回 -



様
91歳

様は話し方が上品で、心安らぐとても穏やかな方です。お誕生日企画について、様のご希望をご家族様と調整し、「今は亡きご主人様へのお参り」と「お花見ドライブ」に決定しました。

ご自宅までの道は覚えておられ、「この道をまっすぐ行くと家だと思えます」など、教えて下さりながらご自宅へ戻りました。家から歩いて3分程にある公民館で御家族様お待ちになっていました。そこからは見慣れた家の周囲を回り、ご自宅へ到着。玄関先でご家族様と記念写真を撮ったり、昔話に花を咲かせたりして再会を喜び合いました。お話を楽しんでおられる様子でしたが、突然「もうこれだけで十



久々の我が家で記念写真



家の周囲も散策しました

分です。つばさに帰りたい」と言い出し驚きました。この外出は本人様の希望を叶えるためのものなので、ご本人様のお気持ちを尊重し、玄関先で御主人様の遺影に手を合わせて戻ることになりました。静かに手を合わせる早崎様。そこに在るのは遺影だけでしたが、ご主人さまが今もそこにいるような錯覚を覚えたかもしれません。この外出は時間的にわずかでしたが、ご自宅で生活していたことを思い出すことができる特別な時間となりました。



ご主人様にそっと手を合わせました

ホームに戻った後、ご家族様とお話をしました。「母が家に上がらず、つばさに帰りたいと言った時は少し寂しかった。でもそれだけ母にとって、ホームが落ち着いて過ごせる場所になっていることがわかり、安心しました。少しの時間でしたけど、自宅で母と過ごせてよかった」と話してくださいました。以前、毎日見ていたはずの家ですが、生活の場をつばさに移されて長いということもあり、様にとって今回は違った感覚があったのかもしれません。



桜の花に心まで癒されました

別日には、お花見にも行きました。この日は、まさに春の訪れを感じさせる陽気でした。桜の花が風に揺れる中、心地よい春風に包まれた早崎様。淡いピンクの花を眺め、終始微笑んでいました。個別対応のため時間の縛りもなく、ゆっくりと地元の桜の名所を回りました。

毎月行っている「あなたの願い叶え隊」は、単に情報を伝えるためのものではありません。私たちが入居者様と過ごす時間・思いを共有することで、読まれているご家族様も一緒に、入居者様の生活を盛り上げてほしい…そのような願いも込められています。これからも時にはご家族様にも協力いただき、入居者様の笑顔を引き出せればと思っています。



握手で再会を誓いました



満開の桜にあふれる笑顔

「人生はもっと輝ける」をスローガンに、職員全員で入居者様の笑顔を増やす取り組みを行っています。現在満床ですが、待機待ちも受け付けています。施設での取り組みについてのお問い合わせや施設見学など、お気軽にお問い合わせください。

Tel0964-43-5724 担当：松岡